



リアコム アルボ ALVO1.9

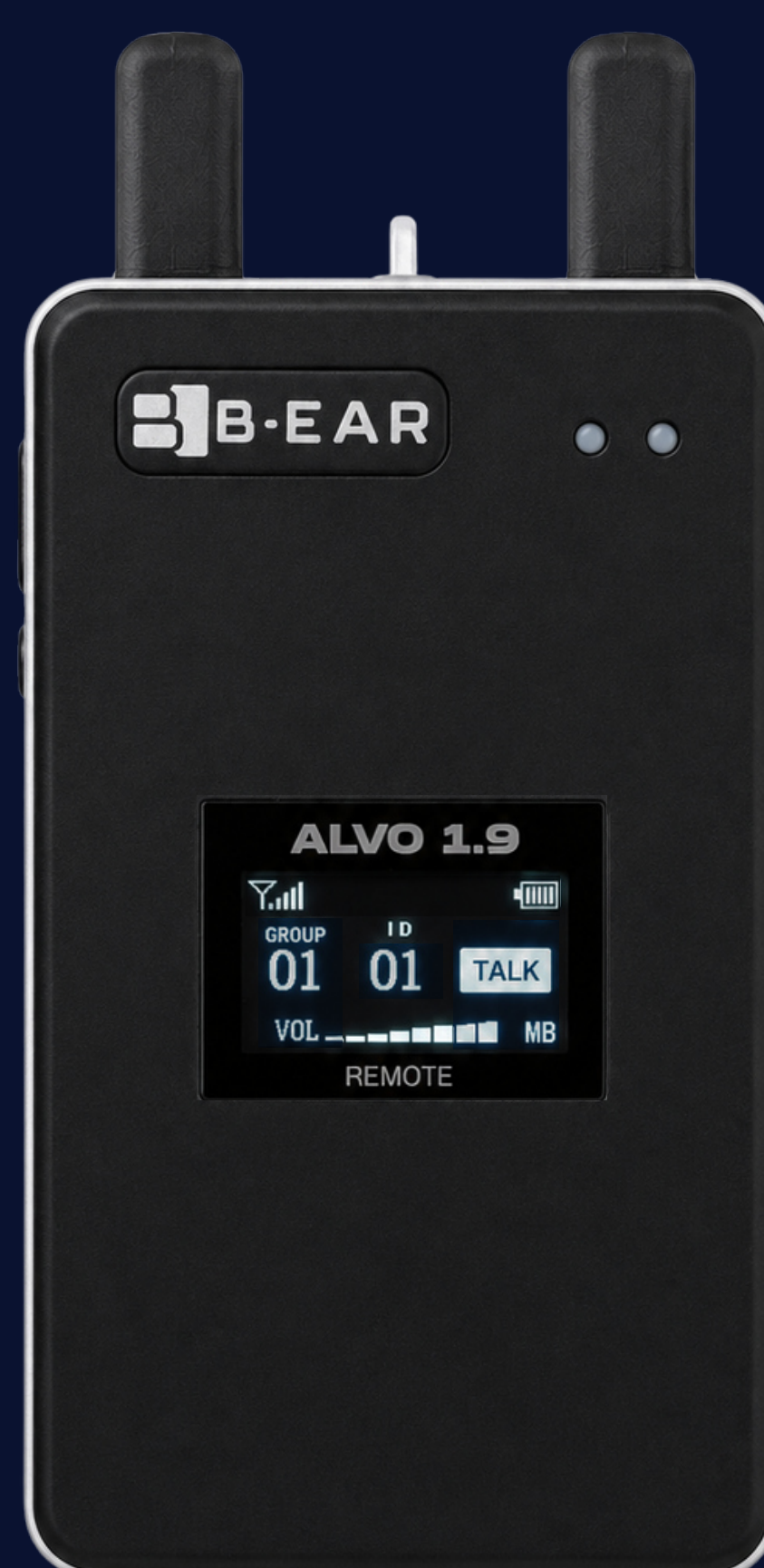
リアルタイム ワイヤレス コミュニケーション

取扱説明書

マスター（親機）／リモート（子機） 共通



マスター（親機）
ALVO1.9M-MB



リモート（子機）
ALVO1.9R-MB

現場の声を、確実につなぐ。

Stop Shouting.
Start Talking.

もくじ

- 01 こんな製品です — 特長・通話距離・拡張
- 02 箱の中身／各部の名前とはたらき
- 03 画面の見方 — アイコン一覧
- 04 基本操作 — 電源・音量・設定モードの3ステップ
- 05 設定早見表
- 06 Bluetooth — ヘッドセットとペアリング／スマホ同時接続
- 07 画面の省電力／トークON・OFF
- 08 ルーム機能 — チームを小部屋に分ける
- 09 ローミング（REMOTE専用機能）
- 10 セキュリティコード／キーロック／初期化／LEDと充電
- 11 お買い上げ時の設定と製品仕様
- 12 保証とアフターサービス B-EAR 製品保証規定

本書は ALVO 1.9 マスター（親機）／リモート（子機）共通の取扱説明書です。

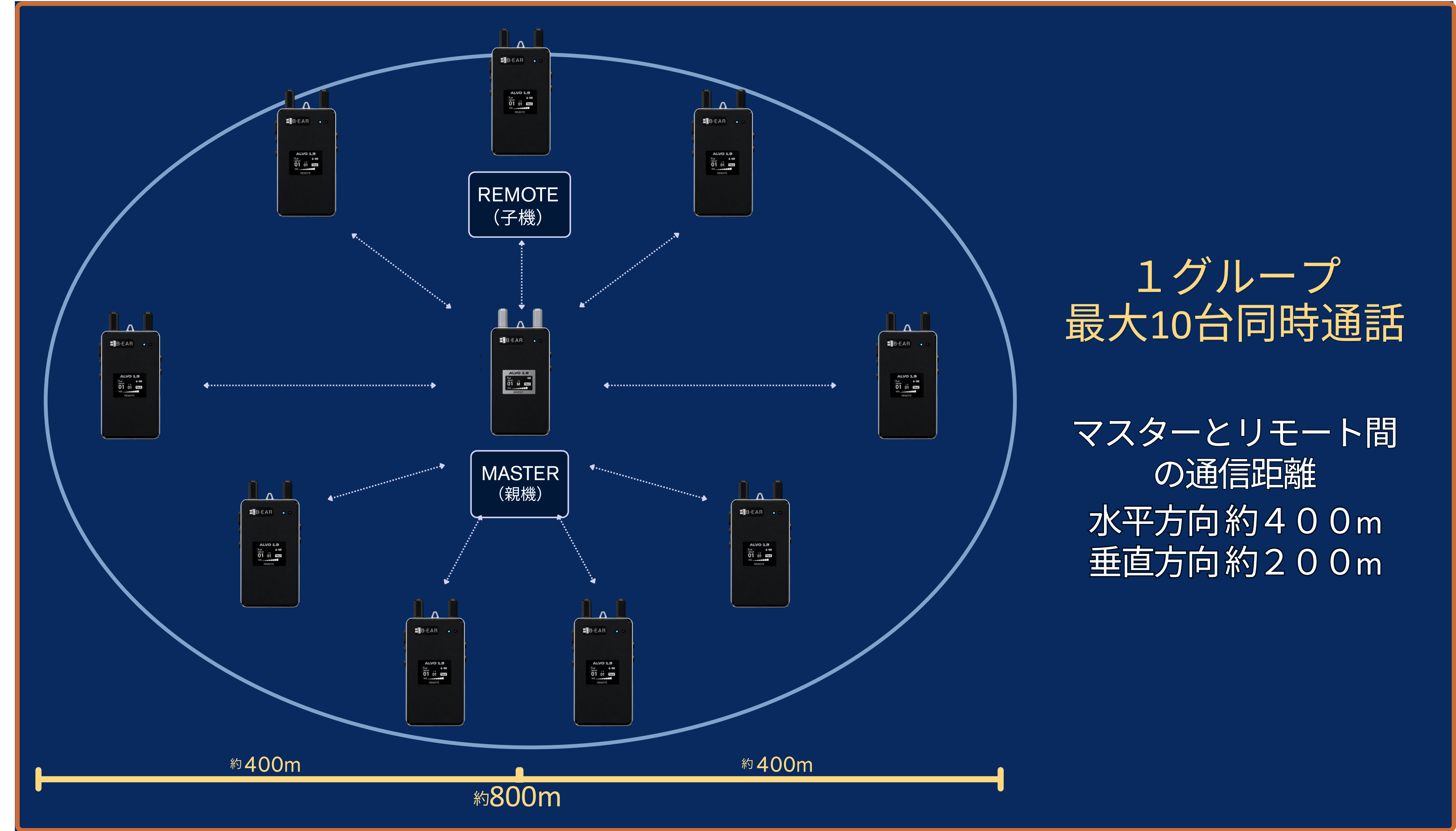
01 - 1 こんな製品ですー 特長・通話距離・拡張

ALVO 1.9 は、1.9GHz帯（DECT方式）を使った超薄型・軽量のワイヤレスインカムです。
トランシーバーと違い「全員が同時に話せて、同時に聞ける」完全同時通話（フルデュプレックス）。
ボタンを押しながら話す必要はありません。

できること	かんたんに言うと
最大10台で同時通話	マスター（親機）1台＋リモート（子機）9台が基本構成。親機を2台にすると最大18台、別売の中継ベース（B-ALEXa）を使うと最大26台・通話距離は約2.4kmまで広がります。
Wi-Fiと干渉しない	1.9GHz帯を使うため、Wi-Fiが飛び交う会場でも安定して通話できます。
イヤホンもワイヤレス	Bluetooth 5.2搭載。完全ワイヤレスイヤホン（TWS）や片耳ヘッドセットとつながり、本体から のケーブルも不要にできます。
騒がしい場所に強い	ENC 2.0ノイズキャンセリングが周囲の騒音を抑え、声だけをクリアに届けます。
混信・盗聴に強い	AES256という強力な暗号化で通話を保護。セキュリティコードも自分で設定できます。
状態がひと目でわかる	液晶画面にグループ・ID・電池残量・音量などを常時表示します。

1グループは「マスター1台＋リモート9台」

ALVO 1.9 は、マスター（親機）1台とリモート（子機）9台、合わせて10台で1つのグループをつくります。
同じグループ番号にした10台がボタンを押すことなく同時に話し、同時に聞けます。
通信はすべてマスターを経由します。そのため、リモートはマスターから水平方向に約400m、垂直方向に約200mの範囲内にいる必要があります。リモート同士の距離ではありません。マスターを挟んで反対側にいるリモート同士なら、約800m離れていても通話できます。
マスターは、お使いになる方々のなるべく中心に置いてください。
垂直方向にも約200m届くため、建物の上下階、立体駐車場、足場の上下など、高さのある現場でもそのままお使いいただけます。



※ 距離はいずれも、障害物のない見晴らしの良い場所での測定値です。使用環境や天候により前後します。

01 - 2 こんな製品ですー 特長・通話距離・拡張

■ グループをつないで広げる

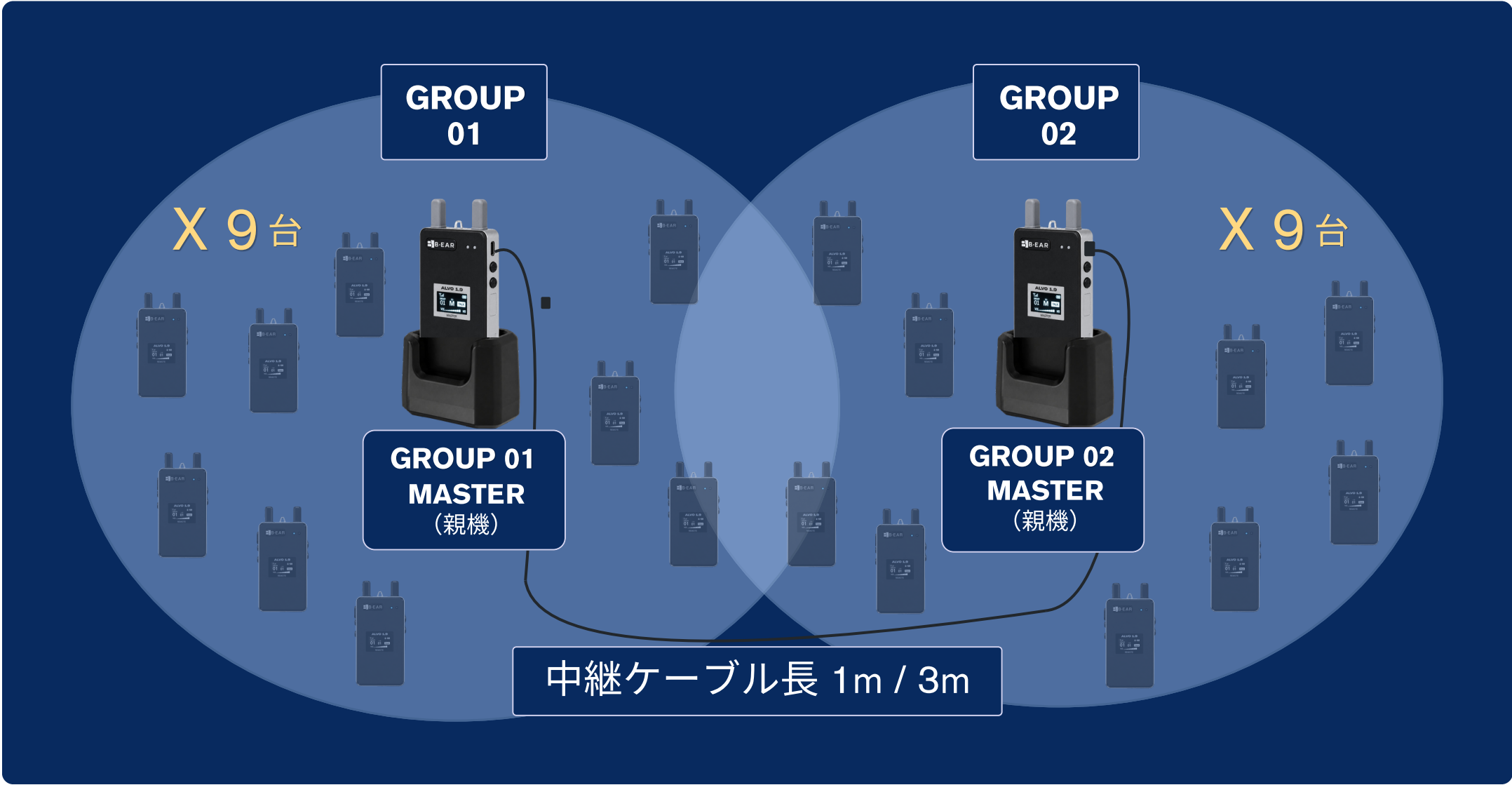
1つのグループで同時に通話できるのは最大10台（マスター1台＋リモート9台）です。
それ以上の人数で使いたいとき、または通話できる範囲をもっと広げたいときは、複数のグループを機器でつないで1つのチームにまとめられます。つなぎ方は2通りあります。

■ 方法1 マスター同士を有線でつなぐー 最大18台

2つのグループのマスターを、それぞれ ALVO 1台用充電器（B-ALC01）に置き、充電器同士を中継ケーブルでつなぎます。
これだけでグループ01とグループ02が1つにつながり、全員が同時に通話できるようになります。

用意するもの

品名	品番	数量
ALVO 1台用充電器	B-ALC01	2台
ALVO 中継ケーブル	B-ALEX10（1m）／B-ALEX30（3m）	1本



※ 中継役となった機器は通話に使用できないため、その分、同時通話台数が減ります。

■ 方法2 中継ベースでつなぐー 最大26台・約2.4km

ALVO 中継ベース（B-ALEXa）は、本体を2台並べて置ける中継用のベースです。
ここに異なるグループのリモートを2台並べて置くと、この2台が橋渡しとなり、異なるグループが1つのグループとなり、つながります。同じ要領でもう1台の中継ベースを使えば、最大3グループを数珠つなぎにできます。グループのエリアが隣へ隣へと連なるため、全体では約2.4kmの範囲をカバーできます。

用意するもの

品名	品番	数量
ALVO 中継ベース	B-ALEXa	2台



※ 中継役となる機器は通話に使用できないため、その分、同時通話台数が減ります。接続には中継ベース、もしくは中継ケーブル1m／3mが必要です。
※ マスターと中継ベースは、位置の変わらない場所に据え置いてください。持ち歩くと通話範囲ごと動き、リモートとの距離が読めなくなります。
※ 連結するグループが増えると、遅延が大きく、音質は下がります。遅延が許されない現場、ノイズキャンセリングを常に効かせたい現場には推奨しません。
※ 約2.4kmは見通しの良い場所での数値です。建物の多い繁華街や住宅街でこの距離を見込むのは現実的ではありません。
※ 「最大3グループ・26台・約2.4km」は条件がそろったときの物理的な最大構成です。

02 箱の中身／各部の名前とはたらき

同梱品（最初に確認してください）

品名	数量
ReaCom ALVO 1.9 マスター／リモート	1台
取扱説明書	1部

各部の名前とはたらき

アンテナと液晶まわりの色： マスター＝グレーアンテナ×シルバー枠
リモート＝黒アンテナ×黒枠



	名前	はたらき
①	電源／TALKボタン「PR/TK」	短押し＝電源ON・トークON/OFF 2.5秒長押し＝電源OFF
②	ペアリングボタン「P」	Bluetoothペアリング、ルームの切り替え
③	モードボタン「M」	長押しで設定モードへ、ローミングのグループ切替 ※子機のみ
④	USB Type-Cポート	充電、有線ヘッドセット接続
⑤	LEDランプ（赤・青）	動作中・充電中・接続状態を表示
⑥	「+／-」ボタン	音量調整、設定値の変更、キーロック、リセット
⑦	液晶画面	グループ・ID・電池・音量などを表示
⑧	充電接点（底面下部）	別売の充電ドックに挿し込んで充電

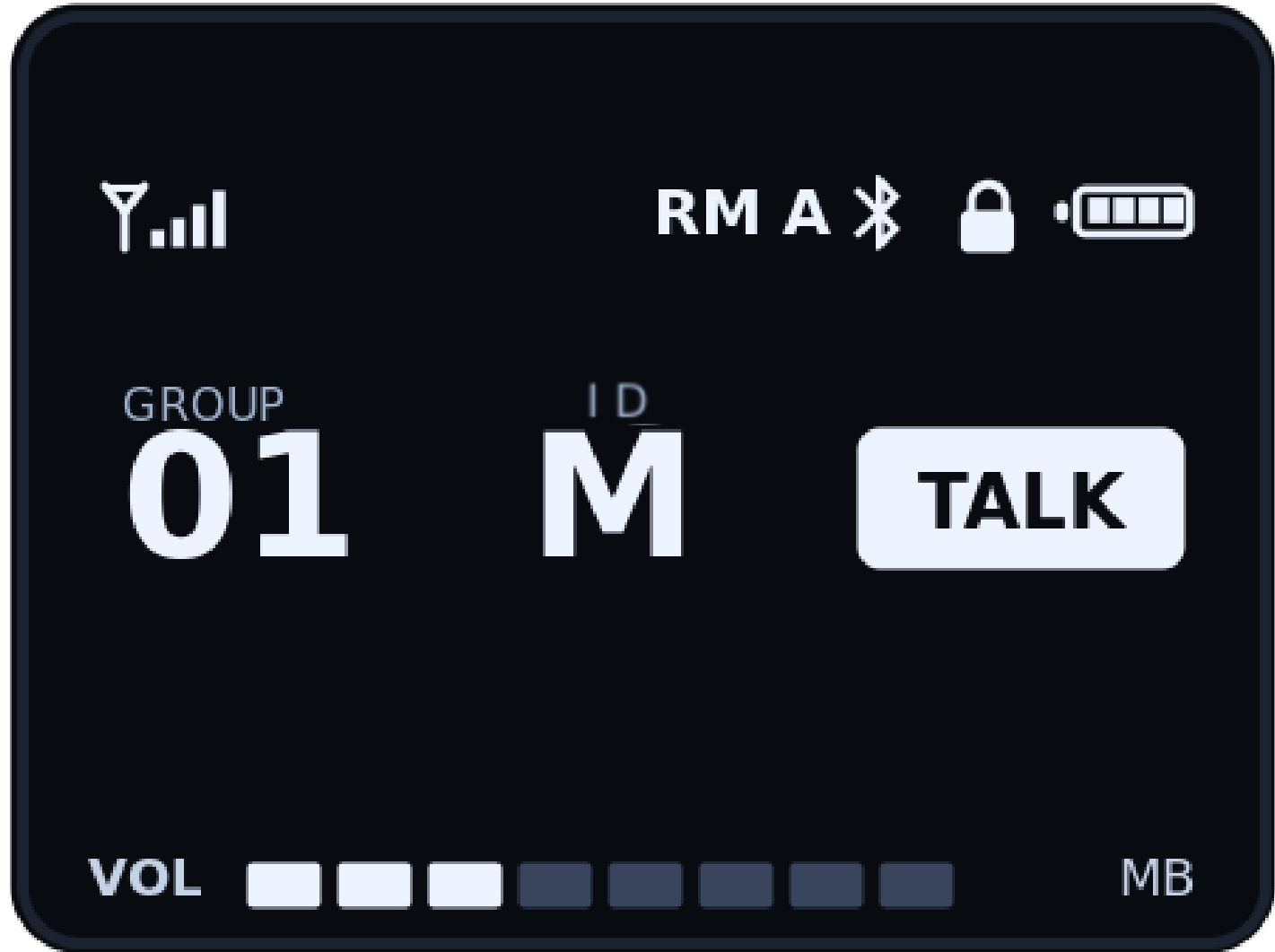
通話にはヘッドセットが必要です（別売）

本機にヘッドセットは同梱されていません。
通話するには、有線（USB Type-C 接続）または Bluetooth のヘッドセットを別途ご用意ください。

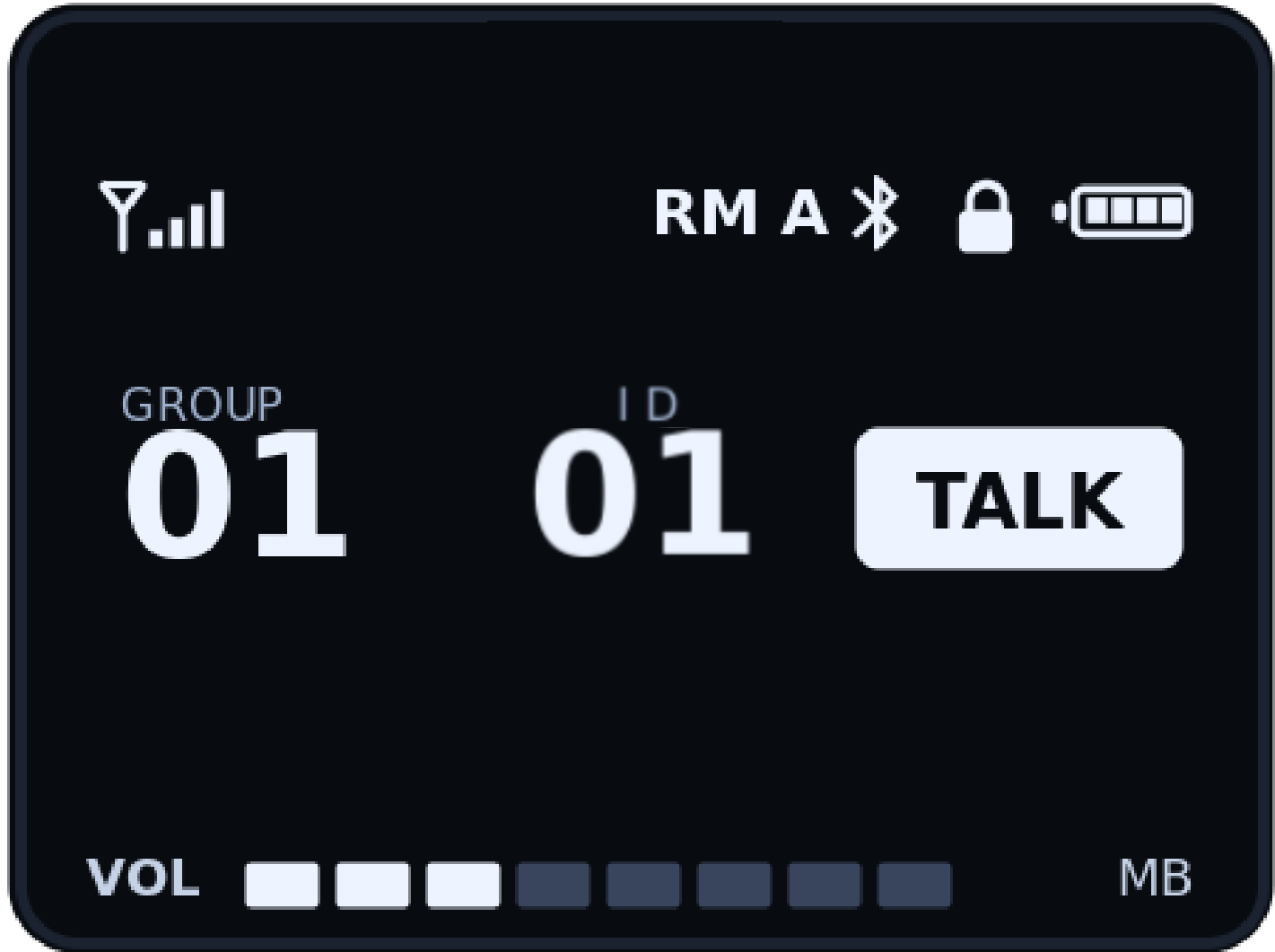
種類	品番	製品名
有線	B-RFTC	VoiSniper ボイスナイパーRFTC
Bluetooth	SSW-1121	VEXA ヴェクサ
Bluetooth	SKZ-EPB2	Shokz OpenComm2
Bluetooth	AUROEA-500	AURO Bluetooth接続タイプ

ご使用の環境に合わせてお選びください。ご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サポート窓口までお問い合わせください。

03 画面の見方 – アイコン一覧



マスター メイン画面（表示例）



リモート メイン画面（表示例）

画面上部のアイコンで、本機の状態がひと目でわかります。
それぞれのアイコンの意味は、下のアイコン一覧をご覧ください。
実機の表示を再現しています。

	アンテナ（電波の強さ）	バーが多いほど電波が良好です
	ルーム	RM M／A／B／T を表示
	Bluetooth	点滅 ＝ ペアリング待ち／点灯 ＝ 接続済み
	有線ヘッドセット	USB-Cヘッドセット・変換ケーブル※ 接続時、Bluetoothの位置に表示
	キーロック	カギ表示中は音量以外のボタン操作が無効（誤操作防止）
	電池残量	端子が左のマーク。目盛が減ったら充電してください
	グループ番号	グループ番号（チャンネルのようなもの）
	ID（自分の番号）	マスターは「M」、リモートは「01～09」が表示されます
	トークON/OFF表示	表示中 ＝ トークON（声が相手に届く） 消えている ＝ トークOFF（届かない）
	音量レベル	0～8の9段階。点灯バーの数が現在の音量です
	エリア番号	出荷時に設定された番号です

※ 品番 B-ALGCs / B-ALGCd

04 基本操作 — 電源・音量・設定モードの3ステップ

■ 電源を入れる・切る

操作	方法
電源を入れる	「PR/TK」 を短押し
電源を切る	電源が入った状態で 「PR/TK」 を 2.5秒以上長押し

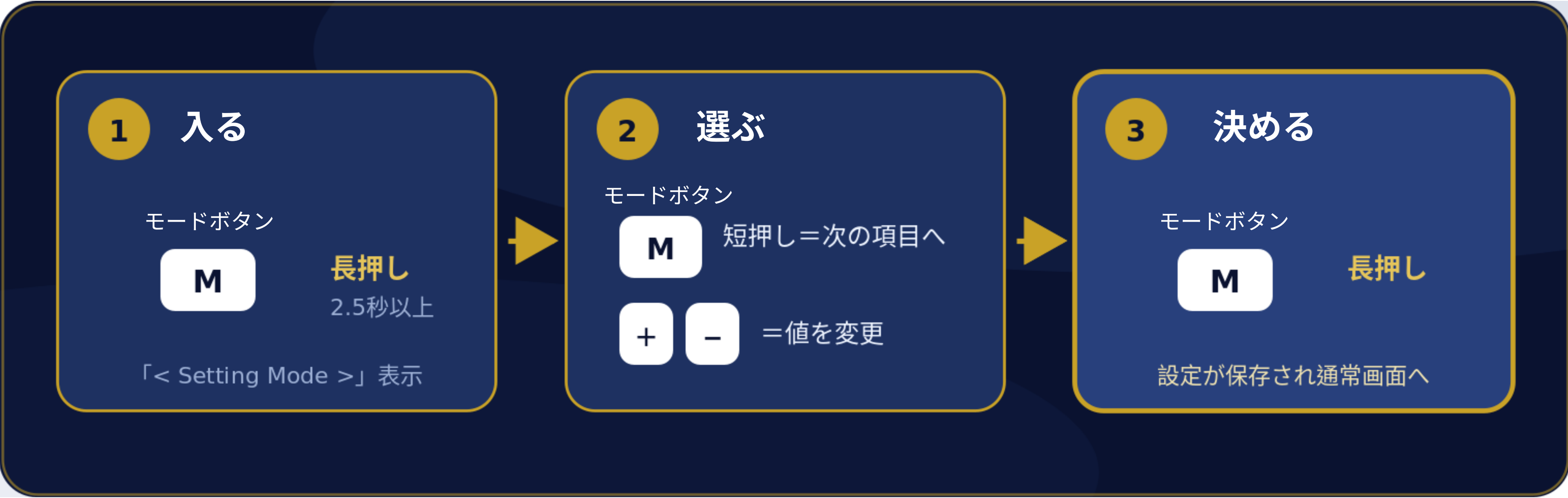
電源を入れると、最初の画面にMBという文字とファームウェアのバージョンが表示されます。

■ 音量を変える（0～8の9段階）



メイン画面で「+／-」を短押しすると音量が変わります。画面下のVOLバーが目安です。

■ 設定モードの基本操作（まずこれだけ覚えてください）



覚え方
「M」(モードボタン)で入り、Mで進み、「+／-」で変え、「M」で確定する
これさえ覚えれば、この先の設定はすべて同じ要領です。

05 - 1 設定早見表

マスター（親機）用

設定はすべて「設定モードの3ステップ」で行います。「M」長押しで入り、「M」短押しで項目を送り、「+／-」で値を選び、「M」長押しで確定します。

メニュー	項目	選べる値	ポイント
< Setting Mode > 1.GROUP 01	グループ	01～10	通話するチャンネルを分ける設定 同じ番号同士だけが通話できます
< Setting Mode > 2.SIDETONE OFF	自声確認	1～5／OFF	自分の声を聞きやすくする機能 騒音の多い現場に有効
< Setting Mode > 3.MIC GAIN 3	マイク感度	1～8	騒がしい現場は下げ、声が届かないときは上げる
< Setting Mode > 4.BLUETOOTH ON	Bluetooth	ON／OFF	Bluetooth接続ができます ペアリングはP8をご覧ください
< Setting Mode > 5.DISPLAY ON	画面表示	ON／5S／10S	自動消灯で最大約30%の省エネ
< Setting Mode > 6.ROOM OFF	ルーム機能	M／A／B／OFF	1つのグループ内をさらに分けます ルーム機能はP10をご覧ください
< Setting Mode > 7.NOISE CANCEL ON	ノイズキャンセル	ON／OFF	周囲の騒音を抑えて声を聞き取りやすくします マイク有線接続時に有効で、Bluetooth接続時には機能しません
< Setting Mode > 8.SEC CODE 0000	セキュリティコード	0～9・A～F	同じコードにした機器同士だけで通信するための 4ケタ識別コード

05 - 2 設定早見表

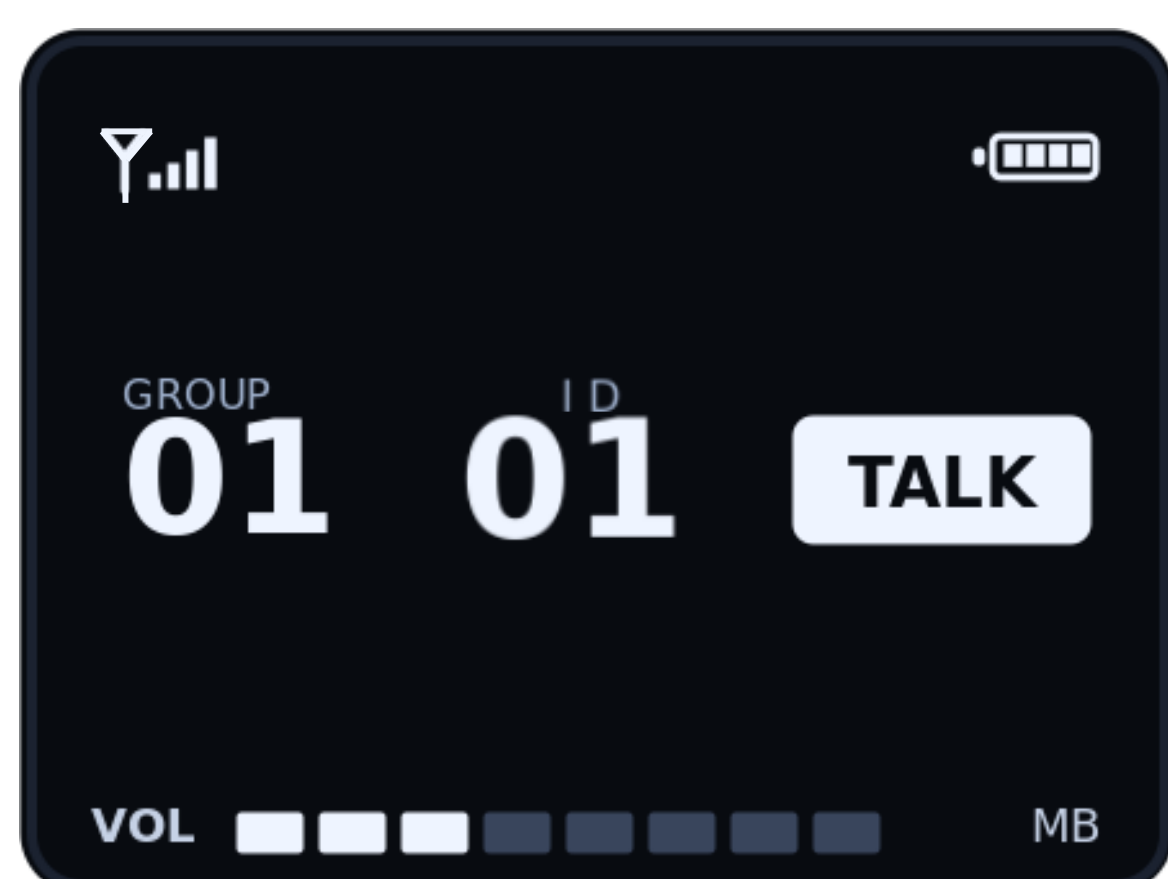
リモート（子機）用

設定はすべて「設定モードの3ステップ」で行います。「M」長押しで入り、「M」短押しで項目を送り、「+／-」で値を選び、「M」長押しで確定します。

メニュー	項目	選べる値	ポイント
< Setting Mode > 1.GROUP 01	グループ	01～10	通話するチャンネルを分ける設定 同じ番号同士だけが通話できます
< Setting Mode > 2.ID 01	ID	01～09	同じグループ内の端末を識別する番号 同じグループ内で同じ番号は重複できません
< Setting Mode > 3.SIDETONE OFF	自声確認	1～5／OFF	自分の声を聞きやすくする機能 騒音の多い現場に有効
< Setting Mode > 4.MIC GAIN 3	マイク感度	1～8	騒がしい現場は下げ、声が届かないときは上げる
< Setting Mode > 5.BLUETOOTH ON	Bluetooth	ON／OFF	Bluetooth接続ができます ペアリングはP8をご覧ください
< Setting Mode > 6.DISPLAY ON	画面表示	ON／5S／10S	自動消灯で最大約30%の省エネ
< Setting Mode > 7.ROOM OFF	小部屋分け	M／A／B／OFF	1つのグループ内をさらに分けます ルーム機能はP10をご覧ください
< Setting Mode > 8.NOISE CANCEL ON	ノイズキャンセル	ON／OFF	周囲の騒音を抑えて声を聞き取りやすくします マイク有線接続時に有効で、Bluetooth接続時には機能しません
< Setting Mode > 9.ROAMING NNNN	ローミング	N ／ 0～9	移動先のエリアに合わせて、登録したグループを切り替えて通話する機能 ローミング機能はP11をご覧ください
< Setting Mode > 10.SEC CODE 0000	セキュリティコード	0～9・A～F	同じコードにした機器同士だけで通信するための4ケタ識別コード

06 Bluetooth — ヘッドセットとペアリング／スマホ同時接続

■ ペアリングのしかた



ペアリング前（マークなし）



接続完了（マーク点灯）

- 1 ヘッドセット側をペアリングモードにします（ヘッドセットの説明書をご覧ください）
- 2 メイン画面で「P」（ペアリングボタン）を2.5秒以上長押し → Bluetoothマークが点滅し、ペアリング待ちになります
- 3 つなぐとマークの点滅が止まり、点灯したままになれば完了です

1つのBluetoothヘッドセットを「ALVO 1.9」と「スマホ」の両方につないでおけば、インカムで通話しながらスマホの着信にもそのまま出られます。接続する順番がポイントです。

デュアル接続のながれ（順番どおりに）

1 ALVO 1.9の電源を切っておく



2 スマホとBluetoothヘッドセットをペアリング



スマホ



ヘッドセット

ペアリングできたら、**スマホのBluetoothを一度OFF**にして、ヘッドセットを再びペアリング待ちにする

3 ALVO 1.9の電源を入れ、ヘッドセットとペアリング



ALVO



Pボタンを2.5秒以上長押し → Bluetoothアイコンが点滅 → 点灯したら完了

4 スマホのBluetoothをONに戻し、ヘッドセット名を選ぶ

→ 「ALVO 1.9」と「スマホ」の両方につながった状態（デュアル接続）になります

うまくいかないとき

マークが消えてしまったらペアリング失敗です。「P」を長押しでやり直してください。
Pを長押ししても反応しないときは、設定メニューの BLUETOOTH が OFF です。
一度つないだイヤホンは、次回から電源を入れるだけで自動再接続されます。

デュアル接続ができないことがあります

Bluetoothヘッドセットの機種によっては、2台の機器への同時接続（マルチポイント）に対応していないものがあります。その場合は ALVO 1.9 とスマホのどちらか一方としか接続できません。
デュアル接続にはマルチポイント対応ヘッドセットをご利用ください。

■ 電話がかかってきたら（デュアル接続の場合）

ヘッドセットの応答ボタンまたはスマホ本体で電話に出ます。通話中は同じグループとの送受信が一時停止し、スマホの相手とだけ話せます。電話を切ると、何も操作しなくても自動で無線通話に戻ります。

07 画面の省電力／トークON・OFF

■ 画面の自動消灯

設定	動き
ON	画面は常につきっぱなし
5S	5秒間操作がないと自動消灯
10S	10秒間操作がないと自動消灯

自動消灯で電池が長持ちします
つけっぱなし（ON）と自動消灯（5S／10S）では、消費電力に最大で約30%の差が出ます。長時間の現場やこまめに充電できない日は自動消灯がおすすめです。

消灯中のボタン操作
画面が消えているときに押した最初の1回は「画面をつける」だけに使われ、ボタン本来の動作はしません。画面がついてから操作してください。

■ トーク ON/OFF（自分の声を一時的に止める）

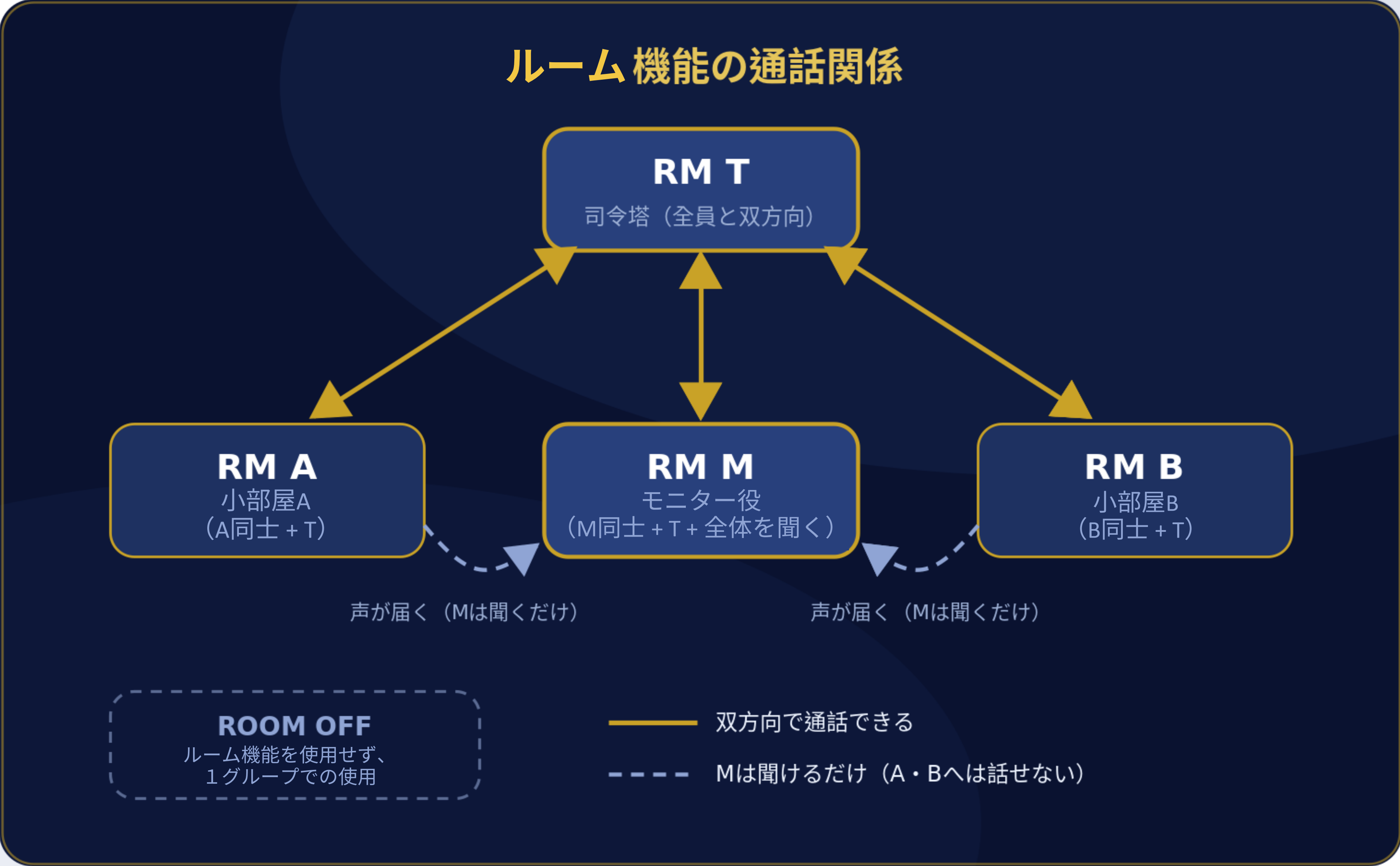


メイン画面で「PR/TK」を短押しするたびに、トークのON/OFFが切り替わります。画面にTALKが出ていれば声が相手に届き、消えていれば届きません。せき込むときや近くの人と直接話すときに便利です。

ヘッドセット側の「ミュート」とは別ものです
Bluetoothヘッドセットにミュートボタンやミュート機能が付いている機種がありますが、それはヘッドセット側だけの機能で、本機のトークON/OFF（TALK表示）とは連動しません。本機側の状態は必ず画面のTALK表示でご確認ください。

08 ルーム機能 — チームを小部屋に分ける

ルームは、1つのグループの中をさらに小部屋に分ける機能です。
例えば結婚式場なら、ホール係は「A」、キッチン係は「B」、全体を把握したい支配人は「M」、全員に指示を出すキャプテンは「T」という使い方ができます。



設定	誰と話せる？
RM M（モニター役）	A・B・Mすべての声が聞こえます。話せるのはM同士とTのみ Mに設定した機器のみ、P 短押しで A・B・T へその場で切替できます
RM A ／ RM B	同じ部屋同士 とTのみ通話ができ、互いの部屋とは通話不可 声はMにも届きます（Mは聞くだけ）
RM T（司令塔）	ルーム設定中の全員（M・A・B）と双方向 設定メニューにはなく、Mに設定した機器が P 短押しで使う特別なモード
OFF	ルームを使いません OFFの機器は、M・A・B・Tのどれとも通話できないため、使わない場合は全員OFFに

■ 設定と切り替え

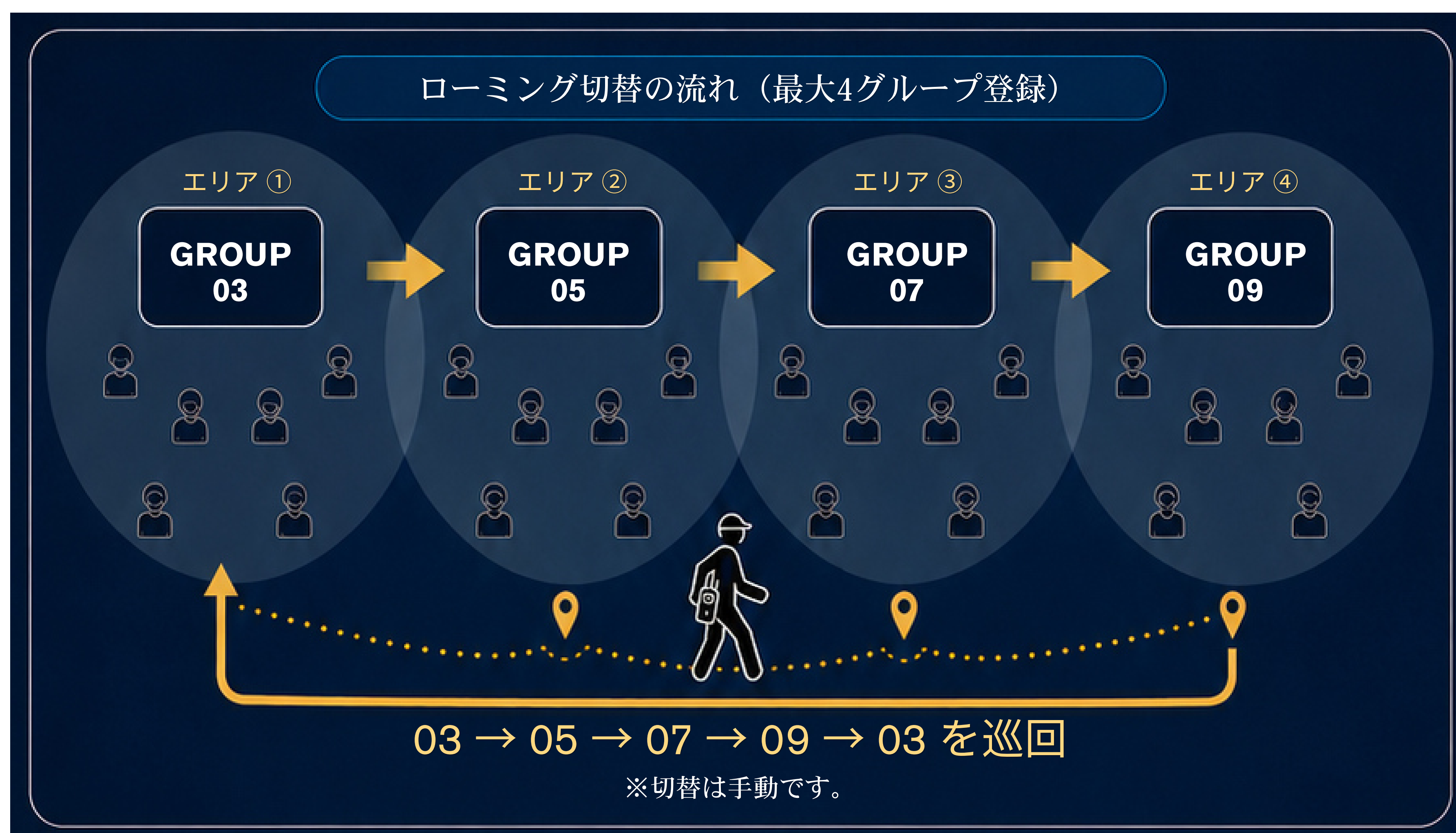
設定モードで M／A／B／OFF のいずれかを選び、M 長押しで確定します。
Mに設定した機器のみ、メイン画面で P を短押しするたびに RM M → RM A → RM B → RM T → RM Mの順に切り替わります。通話できないときは、まず画面上部のルーム表示をご確認ください。

09 ローミング（REMOTE専用機能）

ローミング機能は、リモート（子機）が移動しながら最大4つの登録グループを手動で切り替え、それぞれのグループエリア内で通話できるようにする機能です。

設定モードのローミング項目で、巡回させたい最大4つのグループ番号（各桁1～9・0*・N）を登録します。メイン画面でMボタンを短押しするたびに、登録した順にグループが切り替わります（最大4グループを巡回）。ローミングを無効にするには、設定モードでROAMINGの4桁すべてを「N」に設定してください。

*「0」はグループ10



接続は手動です・連打しないでください

グループを切り替えると、新しいグループへの接続には約5～10秒かかります。この間に接続は自動では完了せず、手動でMボタンを押した操作を起点に処理が行われます。接続処理中にMボタンを連打すると、正しく接続されない場合があります。安定した運用のため、既定のグループ（設定したグループ）もローミンググループに含めることを推奨します。

10 セキュリティコード／キーロック／初期化／LEDと充電

■ セキュリティコード（混信・盗聴対策）

同じセキュリティコードを設定した機器どうしだけが通信できます。近くで同じ製品を使う別チームがいる場合などに設定してください。コードは4桁、各桁は0～9・A～F。＋／－ で1桁目を選び、「M」 短押しで次の桁へ。4桁設定したら「M」 長押しで確定します。

チーム全員で同じコードに

コードが1桁でも違う機器とは通話できません。変更するときは必ず全員同じコードに変更してください。

■ キーロック（誤操作防止）

「＋」と「－」を同時に2.5秒以上長押しするたびに、キーロックのON／OFFが切り替わります。ON中は画面にカギのマークが表示されます。ポケットやベルトに着けて作業するときはONがおすすめです。キーロック中でも音量のみ「＋」と「－」で変更可能です。

■ 設定を全部やり直す（初期化）

電源が入った状態で、「＋」「－」「PR/TK」 の3つを同時に3秒以上長押しすると、お買い上げ時の設定に戻ります。初期化が完了すると電源は自動的に切れます。電源が切れている状態では初期化できません。

■ LEDランプの見方

ランプ	意味
赤が2秒に1回点滅	電池残量わずか（10%未満）。充電してください
赤が点灯しっぱなし	充電中
赤が消える	満充電
青が1秒に2回点滅	親機と子機が電波の届く範囲内（正常）
青が1秒に1回点滅	電波の届く範囲外。距離や障害物を確認してください

■ 充電方法

方法	やり方
ケーブルで	市販のUSB Type-Cケーブルを本体右側面のポートに接続します
ドックで	別売の充電ドック（品番 B-ALC01／B-ALC10a／B-ALC10b）に本体を挿し込みます

■ 充電しながら有線ヘッドセットを使う

本機の USB Type-C ポートは1つで、充電と有線ヘッドセット接続を兼ねています。そのため、USB Type-C ケーブルで充電している間は、有線ヘッドセットを接続できません。
ALVO 1台用充電器（B-ALC01）は本体底面の充電接点から充電するため、USB Type-C ポートが空いたままになります。有線ヘッドセットを接続したまま、充電と通話を同時に続けられます。

11 お買い上げ時の設定と製品仕様

お買い上げ時の設定（初期化後もこの値に戻ります）

項目	初期値
VOLUME（音量）	3
GROUP（グループ）	01
ID ※リモートのみ	01
SIDETONE（サイドトーン）	OFF
MIC GAIN（マイク感度）	3
BLUETOOTH	ON
DISPLAY（画面）	ON
ROOM	OFF
NOISE CANCEL（ノイズキャンセル）	ON
ROAMING ※リモートのみ	NNNN
SEC CODE（セキュリティコード）	0000

製品仕様

項目	内容
品番	マスター（親機）ALVO1.9M-MB／リモート（子機）ALVO1.9R-MB
サイズ・重量	88.3(H) × 50.5(W) × 12.5(D) mm／95g
素材	PCプラスチック／アルミフレーム
バッテリー	リチウムイオン 3.8V／2,000mAh
動作時間	マスター：約9時間（子機5台接続時）／リモート：約30時間
充電時間	約3～5時間
同時通話台数	1グループ最大10台
動作周波数	1.893～1.906GHz
オーディオ周波数特性	200Hz～3.6kHz
ヘッドセット入出力	USB Type-C
オーディオ出力	最大出力音圧レベル111.8dB (EAR013)、20mW未満@10%THD/RL=33Ω
通信距離	水平方向 最大約400m／垂直方向 最大約200m※
変調方式／送信出力	GFSK／210mW
外部接続	Bluetooth 5.2／USB Type-C
操作ボタン	音量ボタン、電源・通話ボタン、モード選択、Bluetooth・ルーム切替
出力ポート	USB Type-C（音声入出力・充電）
動作温度範囲	- 10℃ ～ + 60℃
技術基準適合証明番号	R 211-260806

※ 障害物のない見晴らしの良い場所での測定値です。使用環境や天候により、通話距離は前後します。

保護等級について

本体はIP54。IP67防水ケース（品番 B-ALC2）装着で防水・防塵性能を強化可能。

12 保証とアフターサービス B-EAR 製品保証規定

この保証規定（以下「本規定」といいます）は、弊社製品をご購入いただいたお客様に対し、保証期間内において、正常な使用状態のもとで製品の故障が発生した場合に、弊社が無償で修理または交換を行うことを定めたものです。保証期間経過後の有償修理につきましても承りますので、後記の窓口へお問い合わせください。

1. 保証期間（ご購入日が起算日）

対象	保証期間
製品本体	ご購入日より 1年間
付属品・アクセサリー類	ご購入日より 90日間
バッテリー（内蔵充電電池）	容量低下・劣化は消耗品のため保証対象外です。 ただし、ご購入日より90日以内の著しい初期不良は保証対象とします。

購入日の確認について

保証の起算日は、保証書・納品書・レシートなど「購入日が確認できる書類」によって確認します。

修理・交換をお申し込みの際はご提示ください。確認できない場合は、製造番号をもとに弊社が起算日を判断することがあります。

2. 保証内容

本規定による保証は、日本国内においてのみ有効です。

「3. 保証範囲除外事項」に該当する場合を除き、初期不良および保証期間内の故障について、お客様からのお申し出に対して弊社が無償修理・交換の対象と認めた場合に、無償で修理または交換を行います。

無償修理・交換の対象は、製品本体および付属品とします。無償修理の場合、送料は弊社が負担します。

弊社が無償修理・交換の対象と認めなかった場合は、有償修理の対応となります。有償修理の場合、送料はお客様のご負担となります。

3. 保証範囲除外事項（保証期間内でも無償対象外）

- (1) 外部要因、天災地変・公害・異常電圧などに起因する故障・損傷
- (2) 浸水・落下・泥・砂などにより生じた故障
- (3) 保管上の不備、または手入れの不備による故障
- (4) 使用上の誤り、弊社以外での改造・修理・部品交換による故障・損傷
- (5) 正常な使用に伴う自然消耗・摩耗・劣化（外装のキズ、経年劣化を含む）
- (6) バッテリーの容量低下・劣化など、消耗品の自然な性能低下
- (7) 製品同梱品または弊社指定・推奨以外のパーツの使用による動作不具合
- (8) 弊社が指定・推奨する環境以外でのご使用による不具合
- (9) 輸送・移動時の落下・衝撃など、取り扱いが適正でないために生じた故障・損傷
- (10) 日本国外でご使用になった場合
- (11) 不可抗力など、弊社の責に帰すことのできない事由による故障・損傷
- (12) 前各号に準ずる事由により、弊社が合理的に保証対象外と判断した場合

12 保証とアフターサービス（つづき）

4. 責任の範囲

- (1) 弊社は、製品の故障または動作不具合によりお客様に生じた間接損害および逸失利益（事業利益の損失、事業の中断、データ・情報の損失、これらの復旧に要する人件費・費用等を含みます）について、責任を負わないものとします
- (2) 弊社が責任を負う場合であっても、その賠償額は、当該製品のご購入代金を上限とします
- (3) 前各項の定めは、弊社の故意または重大な過失による場合、および法令上免除することができない責任には適用されません
- (4) 製品の欠陥により、お客様の生命・身体または財産に損害が生じた場合の責任（製造物責任法に基づく責任を含みます）については、本規定にかかわらず、法令の定めに従います

5. 修理後の再保証

弊社が修理を行った製品について、同一部位が保証期間経過後に再び故障した場合、前回の修理品がお客様に到着した日から90日以内に再修理のお申し出をいただいたときに限り、無償で再修理を行います。
ただし「3. 保証範囲除外事項」に該当する場合は有償修理の対象となります。

「同一部位」とは
製品を構成する最小単位の部品、および修理時に行った結線・取り付け等の作業箇所を指します。

6. 有償修理および修理のお申し込み

修理（無償・有償を問わず）をご希望の場合は、まずご購入された販売店、または弊社サポート窓口までご相談ください。有償修理の場合、修理品の送料はお客様のご負担となります。元払いにて販売店または弊社が指定する送付先へお送りください。修理後の返送は着払いとさせていただきます。
無償修理・交換の場合の送料の取り扱いは「2. 保証内容」のとおりです。

修理に伴う設定の初期化について
修理または交換の際に、グループ番号・ID・セキュリティコード・ペアリング情報などの各種設定が初期化される場合があります。修理後はお客様にて再設定をお願いいたします。設定内容の消失について、弊社は責任を負いかねます。

お客様の権利について
本規定は、消費者契約法その他の法令によりお客様に認められた権利を制限するものではありません。
本規定の一部が法令に反して無効とされた場合でも、その他の条項の効力は影響を受けません。

お問い合わせ窓口

窓口	B-EAR サポート窓口
メール	info@bearidge.com
電話	0569-89-7969





タフな現場にこたえる無線